

持続的森林利用オプションの評価と将来像

第一章

1.研究の目的と狙い（市川・中静）

第二章 森林利用の変化とその要因

2.1 森林利用の変化とその要因

P1

2.1.1 ランビル公園周辺の土地利用変遷とその背景（市川）

2.1.2 湿潤熱帯の低地—山地景観における森林利用の変遷とその要因—キナバル山と Deramakot 商業保護林地域の土地利用変遷—（北山）

2.1.3.西部地区における森林利用の歴史（大谷・揚妻・揚妻—柳原）

屋久島における森林利用の変遷「価値づけから見た屋久島の人間—森林関係の歴史」（平野）

2.1.4. 阿武隈山地南部での森林変化とその要因（新山・宮本・佐野）

2.1.5. マトリックスを用いた土地利用推移の単位時間変化（高田）

第三章 森林利用の変化が生物多様性に与えた影響

3.1 森林利用が生物群集に与える影響

P13

3.1.1.サラワク班（市岡）

- ・サラワク東部における土地利用の履歴と植物の多様性および繁殖共生の特性（百瀬・加賀・小泉・岸本・田中・松本・市岡・中川・市川・吉村・中静・Chong）
- ・ボルネオ低地熱帯林における森林伐採がもたらす蝶類群集の多様性喪失効果（市岡）
- ・ボルネオ低地熱帯林周辺の土地利用が甲虫の多様性に与える影響（岸本・市岡）
- ・人為的な攪乱が上位捕食者のコロニー数に及ぼす影響（松本）
- ・マレーシア・サラワク州における森林利用が小型哺乳類群集に与える影響（中川・兵藤・箕口・中静）
- ・ボルネオ島の異なる人為的攪乱下の植生における鳥類相（相原・百瀬・Tisen）
- ・サラワク東部における森林の利用が多孔菌類群集に及ぼす影響（山下）

3.1.2.サバ班

- ・サバ州デラマコットの森林利用が生物群集に与える影響（伊藤・阿久津・松林・長谷川・小野口・清野・北山）

3.1.3.屋久島班

- ・屋久島の低地において森林利用が植物多様性に与える影響（相場・高宮・野間・甲山）
- ・屋久島照葉樹林樹木群集の機能特性（甲山・相場・田辺）
- ・シカ生息密度の異なる地域における実生の発芽・定着（辻野・揚妻・揚妻・柳原）

3.1.4. 阿武隈班

- ・森林施業が昆虫の多様性に与える影響（牧野・岡部・井上・長谷川・後藤・濱口・田中・大河内：10分）

3.2 生態系機能に与える影響

P25

3.2.1 送粉系

- ・森林の分断化や攪乱が、樹木の繁殖におよぼす影響

- (柴田・菊地・吉丸・田中・館野・松木・井鷲・藤森・中静 他)
- ・森林断片化がフタバガキ科 *Shorea laxa* の繁殖・更新過程に与える影響 (竹内)
- ・ボルネオ島の異なる植生に見られるコウモリと植物の相互作用 (福田・酒井)

3.2.2 種子散布系

- ・異なる伐採強度が哺乳動物の種子散布に与える影響 (中島・松林)
- ・過去の森林利用がアコウの繁殖過程に与える影響 (大谷)
- ・ヤマモモの種子散布機能の解明—散布者としてのニホンザルの効果 (寺川・井鷲・松井・野間・菊地・金谷・吉丸・湯本)
- ・ヤマモモの種子散布機能の解明—ヤマモモキバガ (*Thiotricha pancratiastis*) による散布前種子捕食— (藤田・松井・寺川・駒井・湯本)
- ・鳥類が生態系機能に果たす役割 (東條・田中)

3.2.3 被食—防衛系

- ・アリと植物、アリと半翅目昆虫の共生系に及ぼす焼畑の影響 (田中・山根・市岡)
- ・東南アジア熱帯雨林におけるアリ・半翅目昆虫・植物に関する研究 (半田)
- ・東南アジア熱帯産マダラチョウ類の野外における捕食回避効果 (土屋)
- ・東南アジア熱帯におけるオオバギ属を利用する *Arhopala* 属シジミチョウに関する研究 (大久保)
- ・東南アジア熱帯におけるオオバギ (*Macaranga*) 属植物の植食者に関する研究 (松本)

3.2.4. 分解系

- ・熱帯降雨林における土壌動物と分解系 (長谷川・伊藤・川口)
- ・熱帯林生態系における土壌微生物群集の組成と機能 (和穎・潮・北山)

第四章 生物多様性の変化と生態系サービス

4.1. 物質的サービス

P42

- ・熱帯降雨林における樹木多様性と木材利用の変化 (清野・武生・相場・北山)
- ・森林開発と薪不足の関係 — 鯖節づくりから考える森林の持続的利用— (王)
- ・サラワク・シハン社会における森林資源の利用価値 — 食物・現金収入としての利用に着目して— (加藤)
- ・ランビルヒルズ国立公園周辺におけるイバン族によるキノコの利用 (山下)
- ・デラマコット周辺村落における生物多様性利用 (内藤)

4.2. 調節的サービス

P47

- ・広葉樹二次林における捕食寄生性天敵の多様性と機能 (前藤)
- ・ヤクシマザルによる農作物被害 地域的な話 (森野)
- ・屋久島における森林開発と野生動物による農作物被害の関連 (揚妻)
- ・屋久島西部林道における拡幅工事計画中止後の利用者アメニティーの変化 — 道路開発を中止したことによる生態系サービスの保全と増進事例として— (揚妻・揚妻—柳原・大谷・杉浦)

4.3. 文化的サービス

- ・森林地域の観光利用の変遷 (馬場)
- ・ボルネオのプナンの植物知識・認識と利用 (小泉)

P51

- ・サラワク東部の焼畑民イバンによる植物や鳥の利用および認識の植生間比較（百瀬・相原・加賀・小泉）
- ・屋久島森林施業計画にみる地元住民の森林に対する要望（王・安部）
- ・屋久島における民間植物利用の変遷（相場・湯本）

第五章 持続的な森林利用・生物多様性利用

5.1. 地元社会と森林利用

P57

- ・サラワク・イバンの自然資源利用についての制度(市川)
- ・多様な生物の利用持続性における共同体資源管理の限界と豊富なインベントリーの意義（百瀬・鴨井）

5.2. 国家政策・国際社会と森林利用

P59

- ・サラワク州の森林政策と地域社会：その悪評の理由（藤田）
- ・生物資源の保全政策とその効果（大沼）

5.3. モデル、経済、理論

P62

- ・地域社会にある天然資源の持続的利用に資する資源関係論の検討(王、安部、佐藤)
- ・合理的選択としての非持続的資源利用とその処方箋(赤尾・Farzin)
- ・サバ州における自然環境機能の経済評価比較と森林政策への応用(長谷川・三谷)
- ・森林の利用価値と保全(森野)

第六章 森林の持続的利用と生物多様性（全体のまとめ）

業績リスト

P80